令和７年７月１日　　編集・発行　宗教法人 生長の家 宇治別格本山

宇治情報
No.127
（体験集通算 477号）

宝蔵

『飛鳥讃歌』読誦

生長の家宇治別格本山 祈願部 部長
阿部 秀輝

宝蔵会の皆様には日頃から宇治別格本山の活動にご賛同いただき、感謝申し上げます。

七月は文月（ふみづき）と言われ、いくつか説がありますが、稲の穂が膨らんでくる月「穂含月（ほふみづき）」が変化して文月になったと言われています。今年は太陽の恵みと雨の恵みのバランスが取れ、多くの稲の穂が実り豊作になることを願っております。

▲供養塔にて『飛鳥讃歌』を読誦

七月の年中行事としては海開き、富士山山開き、博多祇園山笠、祇園祭、天神祭等があります。宇治別格本山でも八月は盂蘭盆供養大祭が行われます。今年も生長の家総裁谷口雅宣先生ご奉祀、白鳩会総裁谷口純子先生ご臨席のもと「自然災害並びに世界規模感染症物故者追悼慰霊祭」「宝蔵神社盂蘭盆供養大祭　本祭」が行われます。宝蔵会の皆様には先祖供養の霊牌推進をよろしくお願いします。

六月十三日には宝蔵神社月次祭、全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭が執り行われました。天候に恵まれ、全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭は供養塔前で行なわれました。聖経『天使の言葉』に続いて初めて『飛鳥讃歌』の読誦がありました。目等宮司先導のもと、讃歌読誦が始まりますと荘厳な雰囲気の中、小鳥のさえずりが一面に響き、穏やかな空気に包まれました。月次祭で初めての『飛鳥讃歌』読誦に参列者代表として参列できたことは貴重な体験でした。これから毎月十三日に『飛鳥讃歌』の読誦が行われることは大変素（次頁に続く）

晴らしいことだと思います。

『日々の祈り　神・自然・人間の大調和を祈る』の「『すべては一体』と実感する祈り」に「**鳥たちのさえずりは、神の無限生命の表れである。遠く近く、長く短く、華やかに時に静かに、多様に、絶妙な調和の中に、鳥たちが呼び交わす数々の声は、そのまま天上の交響曲である。**」とあります。神の無限の生かす力が我がうちにあり、すべては神と一体なりとの思いを抱くことのできた月次祭でした。

『飛鳥讃歌』を開きますと初めに「一即多・多即一」の揮毫があり、次に「捨てることで自由を得る祈り」があり、本文、最後には生長の家前総裁谷口清超先生作詞聖歌『愛しているから』が収録されています。すべてを拝読することの大切さを感じました。讃歌読誦であり、全托の祈りでもあります。如何に執着を放つか。空っぽの心境で神にお任せすることの大切さを学ばせていただきました。

宇治別格本山の七月は短期練成会と献労練成会が行われます。献労とは神様に労力を捧げること。捧げることで自分の内にある「無限力」を引き出すことができます。自他のために捧げることで多くの体験が出ております。どうぞ練成会にご参加ください。

随想

霊牌記載のこと

祭司部祭務課 課長　鵜飼俊光

梅雨入りの本山は、新緑の美しい季節を迎えています。宝蔵会員の皆様をはじめたくさんの方々のご愛念を頂きまして、お陰様で感謝と悦びの祭司部の業務をさせていただいております今日この頃でございます。七月は盂蘭盆供養大祭にて供養されます霊牌の受付が始まっている時期に当ります。日常業務で霊牌を取り扱っておりますが、正しく記載されていない為、当方で加筆・削除等の修正を加えて霊牌合祀祭にお出ししております事例が増えてまいりました。新しいリーフレットに加えさせていただきました記載上の注意事項を紹介し、正しい方法で霊牌を記載していただき、盂蘭盆供養大祭をお迎えいただきたく存じます。

一、「氏名の横（欄外）に続柄、住所、数字等は書かないでください。」

氏名以外の欄外に「本家・分家」「何代目」「何県・何市」等の記載が増えております。霊牌の氏名は記載していただいている方の霊波が宿っていることをお忘れで、故人の特定がなされないとの懸念がおありでのことと思われます。

ご記載の際にその方（故人）をお思いの上お書きいただければ、正しくその方（故人）が招霊されますのでご安心ください。

二、「命日は裏の決められた場所にお書きください。」

霊牌の表面の左右の白地の部分に、

ご命日を記載されておられる事例が増えてきておりまして、上記の一番目にも当てはまる事にはなりますが、霊牌の表面は氏名のみの記載でお願いいたします。ご命日の記載は裏面に所定の欄がございますので、そちらにお書きください。これは、私見で正確性はございませんが、霊牌の表面はその方（故人・家）のお顔またはお宅の表札のイメージを含みながら、私は記載させていただいております。

三、「俗名がわからずに戒名で書く場合は頭に苗字をつけて、最後に『比古命之』もしくは『比女命之』をお書きください。」

本来霊牌はその方（故人）をお呼びした時にご自身の事だと認識していただくために生前使われていた「俗名」を記載していただいておりますが、「俗名」は不明でも「戒名」なら分かる方も供養して差し上げたい気持ちをお持ちの場合、例外的に受付しております。「戒名」をお書きいただいております場合でも、記載者の霊波が宿っておりますので故人の特定は出来ておりますが、生長の家の供養の形式として「比古命之」「比女命之」、神の子として取り扱っておりますので、必ずお付けいただきたくお願い申し上げます。

四、「戒名の嬰児・嬰女、孩児・孩女、童子・童女は流産児ではないので一般霊牌にお書きください。」

子供用戒名で「何某水子」と記載されている御霊様以外の「嬰児・嬰女、孩児・孩女、童子・童女」と記載されておられる御霊様は、全てお生まれになられてから約十五歳前後までにお亡くなりになられた御霊様ですので、流産児の御霊様ではございません。正しくは

一般霊稗にご記載ください。また、「何某水子」と記載されておられる御霊様は流産児霊牌にご記載ください。

以上四点でございますが、改めて確認をさせていただきましたので、ご留意いただいた上で霊牌をご記載ください。

宝蔵会員の皆様の益々のご多幸と悦びの使命邁進をお祈り申し上げます。

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

体験感想文

D．F（60代）〈男性〉

定年退職を迎えて二年目、再就職をして新たな仕事につき早三ヶ月が経過しています。ただ働く事が嬉しくて、心で「ありがとうございます」と何度も繰り返しながら働き、日々喜びとともにただただ働いています。

前職ではライバル （6頁に続く）

2025年7月 第3回 神性開発宇治 大祭に向けての献労練成会プログラム

☆予約制となります。（当日の参加はできません）

申し込み方法
- 練成部へお電話（0774－21－2153）
  ※9時20分～17時の間にお掛けください
- 参加申込フォーム
  （ホームページ、Facebookまたは左下のQRコードよりお入りください）

申込期限
- 宿泊の方は7月17日(木)まで
- 日帰りの方は参加前日まで

※万が一キャンセルされる場合は、分かった時点で連絡していただくようお願い致します。

参加申込フォーム

7/18 (金)

京阪宇治駅とＪＲ宇治駅に出迎えのバスを手配いたします。
◇昼食前の　・京阪宇治駅 １１：１５発
　　・ＪＲ宇治駅 １１：２５発
◇練成開始前の・京阪宇治駅 １２：１５発
　　・ＪＲ宇治駅 １２：２５発
に各駅2回ずつ出迎えいたします。
集合場所：各駅ロータリー（運転手が「生長の家」のプラカードを持っています）

※昼食は宇治別格本山でお召し上がりいただけます。（食堂11:30～13:00）

11:00より受付を開始いたします

13:00　聖経「大自然讃歌」読誦 清水　志郎
13:20　開会式・挨拶　目等　泰夫
13:30　講話
神に生かされ、満たされている
岡田　浩二　『日々の祈り』
14:00　休憩・笑い
14:15　献労説明
献労①
「末一稲荷神社」玉垣磨き及び階段磨き
太鼓橋の磨き洗い
15:15
休憩
15:45
献労②
「末一稲荷神社」太鼓橋の磨き洗い
16:30
夕食・入浴休憩
18:30　聖歌・笑い
18:40　経本「飛鳥讃歌」読誦
岡田　浩二
19:10　講話
何よりも自己が〝神の子である〟と信ぜよ
清水　志郎
『日々の祈り』・『詳説神想観』
20:00　「基本的神想観」実修
清水　志郎
20:30
就寝準備
22:00　消灯

7/19 (土)

4:45　起床
5:05　早朝行事　先導：清水　志郎
聖経「甘露の法雨」
「合本讃歌」「聖歌歌詞集」
6:30　感謝行(15分)
6:45　朝食・休憩
（食堂は6:45～7:30）
7:50　聖歌・笑い
8:00　講話
神・自然・人間は本来一体なり
岡田　伊都子
『夢の地平線』『真理の吟唱』
8:40　休憩・移動
9:00
献労③
「大拝殿」清掃
9:45　休憩・笑い
10:00
「末一稲荷神社月次祭」
「精霊招魂神社月次祭」
参列
（大拝殿からの遥拝）
聖経『甘露の法雨』
聖経『天使の言葉』
11:40
昼食休憩
13:00「入龍宮幽斎殿にての神想観」実修
阿部　秀輝
13:30 休憩・移動
13:45
献労④
「智泉荘」外通路、階段磨き
14:45
休憩・移動
15:20　講話
神の子として新生する～浄心行について～
岡田　浩二
『新しい文明を築こう・中巻』
16:15　浄心行用紙記載
聖経読誦　岡田　浩二
16:45
夕食・入浴休憩
18:20　聖歌・笑い
18:30　講話
父母の愛に導かれて
鵜飼　俊光
『夢の地平線』『真理の吟唱』
19:15　会場準備
19:25　「浄心行」
岡田　浩二
聖経『甘露の法雨』『万物調和六章経』
『聖歌歌詞集』
※浄心行後、JR宇治駅、京阪宇治駅まで送りのバスを手配いたします
20:40　体験感想文記載
就寝準備
22:00　消灯

7/20 (日)

4:45　起床
5:05　早朝行事　先導：岡田　伊都子
聖経「甘露の法雨」
「真理の吟唱」「聖歌歌詞集」
6:30　感謝行(15分)
6:45　朝食・休憩
（食堂は6:45～7:30）
7:50　聖歌・笑い
8:00　「人類同胞大調和六章経」読誦
清水　志郎
8:20
献労⑤
「宝蔵神社」　神域清掃
9:15　休憩・笑い
9:40
献労⑥
「自然災害並びに世界規模感染症
物故者慰霊塔」神域清掃
10:40　休憩・笑い
11:10
体験決意発表
11:40　講話
ご先祖様と共に生きる
目等　泰夫
『二百字日記3』『合本讃歌』
12:30　閉会式・使命行進曲・挨拶
12:40　終了予定
昼食をお召し上がりいただけます

昼食前後にＪＲ宇治駅と京阪宇治駅までの送りのバスを2本手配いたします。

《テキスト》
- 二百字日記3
- 日々の祈り
- 夢の地平線
- 新しい文明を築こう・中巻
- 詳説神想観
- 聖経 真理の吟唱

《行事で使用するもの》
- 聖経四部経
〔聖経甘露の法雨・聖経天使の言葉・聖経続々甘露の法雨・聖使命菩薩讃偈〕
- 飛鳥讃歌
- 合本讃歌
〔観世音菩薩讃歌・大自然讃歌〕
- 人類同胞大調和六章経
- 万物調和六章経
- 聖歌歌詞集

《持ち物》
- 洗面用具（シャンプーはありません。ご持参ください）
- 筆記用具
- 着替え
- ハンカチ
- マイ箸、マイボトル
- 動きやすい服装

【奉納金】
- **一泊4,000円**
  子供(3～12歳)2,750円
- **日帰り1,500円**
  子供(3～12歳)750円

8月【第626回 神性開発 宇治 短期練成会 プログラム】 会場:大講堂

8/1（金）

☆予約制となります。（当日の参加はできません）

申し込み方法
- 練成部へお電話（0774-21-2153）
  ※9時20分～17時の間にお掛けください
- 参加申込フォーム
  （ホームページ、Facebookまたは左下のQRコードよりお入りください）

申込期限
- 宿泊の方は7月31日(木)まで
- 日帰りの方は参加前日まで

※万が一キャンセルされる場合は、分かった時点で連絡していただくようお願い致します。

参加申込フォーム

京阪宇治駅とＪＲ宇治駅に出迎えのバスを手配いたします。
◇昼食前の　・京阪宇治駅 １１：１５発
　　・ＪＲ宇治駅 １１：２５発
◇練成開始前の・京阪宇治駅 １２：１５発
　　・ＪＲ宇治駅 １２：２５発
に各駅2回ずつ出迎えいたします。
集合場所：各駅ロータリー（運転手が「生長の家」のプラカードを持っています）

※昼食は宇治別格本山でお召し上がりいただけます。（食堂11:30～13:00）

11:00より受付を開始いたします

13:00　経本「大自然讃歌」読誦 岡田　浩二
13:20　開会式・挨拶　目等　泰夫
13:30　講話
善一元なる神への信仰
目等　泰夫
『日々の祈り』『飛鳥讃歌』
14:20　休憩・笑い
14:30　講話
生長の家の"真の祈り"
～神想観は素晴らしい～
清水　志郎
『詳説神想観』・神想観のプリント
15:30　休憩・笑い
15:40
悦びの座談会
（Q&A）
16:40
夕食・入浴休憩
18:30　聖歌・笑い
18:40　『飛鳥讃歌』　読誦
清水　志郎
19:10　講話
あなたの中に神様の生命(いのち)、力がある！
岡田　浩二
『日々の祈り』『詳説神想観』『飛鳥讃歌』
20:00　「基本の神想観」実修
岡田　浩二
20:30　就寝準備
22:00　消灯

8/2（土）

4:45　起床
5:05　早朝行事　先導：清水　志郎
聖経「甘露の法雨」
「日々の祈り」「聖歌歌詞集」
6:30　感謝行(15分)
6:45　朝食・休憩
（食堂は6:45～7:30）
7:50　聖歌・笑い
8:00　「人類同胞大調和六章経」 読誦
岡田　浩二
8:20　講話
生き通しの生命(いのち)
岡田　伊都子
『夢の地平線』『生活の智慧365章』
9:10　霊牌記載
9:40　大拝殿へ移動
10:00
「末一稲荷神社祭」
「精霊招魂神社祭」　参列
（大拝殿からの遥拝）
聖経『甘露の法雨』
聖経『天使の言葉』
12:00
昼食休憩
12:50　バスで幽祭殿へ移動
13:00「入龍宮幽斎殿にての神想観」実修
阿部　秀輝
13:30　講話(幽斎殿)
自分が変われば世界が変わる
阿部　秀輝
『飛鳥讃歌』『生活の智慧365章』
14:30　バスで移動・笑い
15:00　体験談　千羽　椋子
15:15　講話
一切を懺悔し、「神の子」として新生する
～浄心行の意義・説明～
清水　志郎
『新しい文明を築こう・中巻』
16:15　浄心行用紙記載
聖経読誦　清水　志郎
16:30
夕食・入浴休憩
18:20　聖歌・笑い
18:30　講話
父母の愛に導かれて
新宮　一
『夢の地平線』『生活の智慧365章』
19:20　会場準備
19:30
「浄心行」
清水　志郎
聖経『甘露の法雨』『万物調和六章経』
『聖歌歌詞集』
※浄心行後に送りのバスが出ます
20:40　体験感想文記載
就寝準備
22:00　消灯

8/3（日）

4:45　起床
5:05　早朝行事　先導：岡田　伊都子
聖経「甘露の法雨」
「日々の祈り」「聖歌歌詞集」
6:30　感謝行(15分)
6:45　朝食・休憩
（食堂は6:45～7:30）
7:50　聖歌・笑い
8:00　「万物調和六章経」 読誦
清水　志郎
8:20　講話
人・事・物の結び付きこそ真の幸せ
～神・自然・人間の大調和に向けて～
岡田　浩二
『二百字日記３』『合本讃歌』・研修生募集案内
9:10　休憩・笑い
9:20　体験談　藤本　和博
9:35　講話
切なる願いは必ず叶えられる
千羽　真平
『二百字日記３』『飛鳥讃歌』
『人生の扉を開く〈第一集〉』・宝蔵申込書
10:20　「祈り合いの神想観」実修
千羽　真平
10:45　休憩・笑い
11:00　体験決意発表
11:40　結語講話
夢を描き、生命(いのち)輝く人生を
目等　泰夫
『二百字日記３』『飛鳥讃歌』
『人生の扉を開く〈第一集〉』
12:30　閉会式・使命行進曲・挨拶
12:40　終了予定
昼食をお召し上がりいただけます

昼食後に、ＪＲ宇治駅と京阪宇治駅までの送りのバスを2本手配いたします。

《テキスト》
- 二百字日記３
- 日々の祈り
- 夢の地平線
- 新しい文明を築こう・中巻
- 生活の智慧365章
- 詳説神想観
- 人生の扉を開く〈第一集〉

《行事で使用するもの》
- 聖経四部経
  〔聖経甘露の法雨・聖経天使の言葉・聖経続々甘露の法雨・聖使命菩薩讃偈〕
- 合本讃歌〔観世音菩薩讃歌・大自然讃歌〕
- 飛鳥讃歌
- 人類同胞大調和六章経
- 万物調和六章経
- 聖歌歌詞集

《持ち物》
- 洗面用具（シャンプーはありません。ご持参ください）
- 筆記用具
- 着替え
- ハンカチ
- マイ箸、マイボトル

※売店と自動販売機は撤去いたしましたのでご注意ください

【奉納金】
- **一泊4,000円**
  子供(3～12歳)2,750円
- **日帰り1,500円**
  子供(3～12歳)750円

（3頁から続く）との競争、部下との競争、上司との確執等々気の休まることがなく、定期的に練成会に参加して四十二年間働いてきましたが、今が一番幸せです。特に、今年一月に初孫が生まれ、その写真や動画を観る度に「生きてきてよかったー」「この孫の成長を見守っていきたい」と、その希望とともに日々働く事が本当に楽しく幸福を感じております。本日の講話を拝聴させていただき、まさにこの幸福感は、生長の家のみ教えのお陰と確信させていただきました。ありがとうございます。

S. E（40代）〈女性〉

心の法則を勉強すると周りを裁き、裁いた自分のことを責めていました。GW短期練成会とこの二日間を受講して、心の法則（唯心所現）の前に実相（唯神実相）があり、全てが善なのだという事がすっと入ってきました。講話と体験談が繋がっていて、どうして体験が出たのかを分かりやすく解説してくださっていました。過去と未来を思いわずらうことが多々ありましたが「過去はすべて今の私の実相があらわれるための布石であり、丸ごと善なんだ」という千羽講師の話がすごく心に残りました。

全部の講話を聴くとテーマがより善く理解でき、二日間通して学ぶことで何を付け加えなくても、私は神の子なんだ！という思いが深まりました。教区の行事や講話で何度も聞いていますが、お役をしていると、いつも心が〝今〟になく、過去や未来にいながら心半分で話を聞いていました。信徒さんの話も親身になって聴くというより業務の一環になっていたな…、と反省しました。

今回、「一日講話」に参加させていただき「今を生きる」こと「私は神の子」を表現していきたいと思います。また参加したいと思います。

T. U（80代）〈女性〉

コロナが蔓延してからなかなか宇治には来れず、また行きたいなと思っていましたが、教区の方よりお声がけいただき、今日は五人で参加する事ができました。どの講師の方からも、プラスの時もマイナスの時も常に「私は神の子である」と心に植え付けると良いと教えていただき、生命の流れを拝むことと教えていただき、皆一体生かされている満たされていると、常に思おうと強く思いました。あまりにも目に見えるものに振り回されていたと思い、目に見えるものは放っておけば消えるとお聞きしたので、日時計主義で明るく毎日を送りたいです。

M. N（70代）〈女性〉

本日もご先祖様と一緒に「一日講話」に参加することができました。私はいつも力んでしまう癖がありました。それは必要ないのだと講話を聴いて心か

ら分かりました。そのままで良いのだ、そのままの神の子の自分をもっと尊敬し、もっと悦んで生き生きと生活して行こうと思いました。

お昼のお食事がとても美味しくて幸せです。前回お会いした方とまた宇治でお会いすることを約束しました。仲良くなれて嬉しいです。

令和七年五月 第二回 献労練成会

体験感想文

M.Z（70代）〈女性〉

五月なので茶摘みがあればいいなと思い参加しました。十六日に茶摘みがありましたのでとっても楽しく幸せな練成会でした。皆で真理の話をしながら明るく作業をしました。

これからも献労練成会、短期練成会に何回も参加したいと思っています。

茶摘みを体験

宇治から帰ると何事でも私の思った通りになり、幸せな毎日を送ることが出来る様になりました。ありがたいことです。毎日、神想観、聖経読誦を続け、真理の書も読み続けたいと思っています。良い徳積みになりました。

H.A（60代）〈女性〉

いつもお世話になっている練成道場の掃除、また宇治の白山神社の清掃をさせていただきたく、参加させていただきました。

神社には天候の都合で行けませんでしたが、代わりにお茶摘みをさせていただき、献労と言うには申し訳ないようなエンタメを体験させていただきました。そこでは「茶摘み」というのは名ばかりで、実際には茶葉は「しごき取る」のだということを知りました。

大拝殿中に“ありがとうございます”が響きわたる

二日目に本格的な献労をしましたが、はじめる前に岡田浩二講師が「献労は神の子が行うもので、神霊に導かれて行うものです」と教えてくださったおかげで作業の間中、「私ではなく神がやっている、神がやっている」と思いながら作業をすることができました。

幽斎殿の外回り拭きの献労では若い女性の方が水にしっかり濡らしたぞうきんを何度も届けてくださり、とても作業がやりやすく小さな心遣いがこんなにも嬉しいものか、と思いました。また、私が他の皆さんよりスピードが遅くても「神霊に導かれているから大丈夫、自分のペースでいいんだ」と思え

て、とても心穏やかに献労を行うことができました。

白山神社では「自然体験と俳句作り」が予定されていたということで、決意発表の代わりと言っては何ですが、俳句を作ってみました。

新緑が袋にあふる宇治の山
おしゃべりが茶摘みに彩(いろ)添え時忘る
ホトトギス山冴え渡り心澄む
拝殿も我も浄まり夏迎う
拭きに拭き真白き欄干緑映ゆ

第六二四回（六月）短期練成会

体験感想文

K・K（50代）〈女性〉

父が先月亡くなり供養のために参加致しました。通常ならば金土は休めないのですが、父のことで混乱していたせいかなぜか休みを取っていました。また四月より私自身原因不明の発熱が一ヶ月半ほど続き、心配した夫が神癒祈願を出してくれたのですが、そのとき人型と共に『宝蔵』が届き、六月の短期練成会開催を知り、普段の私なら疲れていてとても参加出来ないところでしたが、父の遺影と共に全期参加させていただきました。

練成会は十年以上ぶりでしたので、最初は笑いの練習も「ヤダナー」と思って声もあまり出ませんでした。ただ、やり続けていると段々と笑いも聖歌もすごく声を出せるようになってきました。講話もすべてすばらしく魂が感動しているのか、私の意思とは関係なく涙が溢れてきました。特に浄心行では『久遠いのちの歌』のあたりから、涙が止まらなくなりました。思えば父が亡くなったあとも親戚の応対などで忙殺され、まともに泣けていなかったので、父と話をしてちゃんとサヨナラできたような気持ちになりました。

実相円満誦行

今回の練成会を通じて「愛」を表現することが私はまだまだ足りていなかったなと、何度も感じました。今後は、身口意すべてにおいて、愛を意識して表現できる愛深い女性を目指していきたいと思いました。

W・N（10代）〈男性〉

パニック症の快癒（人間不信の克服）の為参加。

浄心行用紙記入後、突然涙が止まらず、先祖供養祭へ行けなかった。清水

講師がその間、付き切りで話を聞いてくださった。四十分もボロボロ泣いていると怒られると思って、今まで泣きたくても涙を押し込んで来たから人前で泣けなかったと打ち明けた。脂汗と涙が混じって、溜まっていた膿がどろどろと出るような感じだった。

用紙記入中、周りの人が遠のいていくようなそんな孤独感に襲われ、今この感想文を書いている最中も、また同じような心が押し寄せてこないか恐怖がある。イヤホン越しに音楽でも聴いて寝つかせるのは簡単だけど、それをしてしまったら、自分の本当の心をさらけ出して〝そのまま〟になることを恐いものだと、また殻に閉じこもるような気がする。でも講師は涙を流す自分に何度も、「あぁすばらしいねぇ」「神の子だからね」と繰り返された後、「家族を代表してこれまで頑張ってきたご先祖様の寂しい心・辛い思いが浄化されて、今この涙を伝わって悦びになっているんだよ」とうろ覚えだがそのようなことを言われ、自分は泣いたら「いつまで泣いてんの？泣いてもしゃーないやん」と言われるとしか考えなかったのに、そこに悦びだと言われ、訳がわからなかった。でも食欲が出て、浄心行でまた少し涙をこぼして、講師の薦めてくださった本をひらいた。良い子は、良い時も反抗的でもたくさん褒められるから良い子なんだ、という内容。自分が神の子、そのまま、ありのままですばらしいと、「そのまますごいやつだ！」と自分でコトバにする。結局そこなんだと思った。全て愛。いつも愛。愛だけと信じよう。

これからは自分そのままを愛する。ただ讃嘆する。帰って母に甘えるということをしたいと思う。

早朝行事　笑い

「一即多・多即一」の真理を感得するために！
谷口雅宣先生著（生長の家総裁）
飛鳥讃歌
子を堕胎し、苦しみの末に尼僧となった母・有彩（ありさ）と、霊界から現れた息子・有児（ゆうじ）の和解と対話の物語を通して、すべての人に「一即多・多即一」の真理と、争いの不用無用を感得せしめる長編詩を典雅な経本として刊行。▼布装上製折本・貼函入・93頁・総ルビ付き▼2300円▼生長の家刊▼日本教文社発売

会社での研修として参加しました。創業者が生長の家を信仰しており、経営理念など会社の考え方にも生長の家の教えが反映されていると伺っておりました。今回、練成会に参加する中で、生長の家の考え方や教えを

学び、それを通して自社の理解を深めようと考えておりました。

二日間を通して、様々な講師の方よりご講話を賜りました。最初はやはり初めてということもあり、実相と現象の考え方など理解が追い付きませんでしたが、様々な講話を拝聴したり、聖経を読誦する中で、段々と理解が深まり、それと同時に会社の理念も理解を深めることができました。会社の理念の一つに〝感謝の商い〟という言葉があります。この練成会に参加するまでは、感謝することの大切さを何となく理解しつつも、どう感謝すれば良いのか等深く理解できていませんでした。講話では「全てが一体、全ての他人の行いに愛がある、だからこそすべてに感謝して生きていくことが必要だ」と学びました。

決意表明

これからは一緒に働く仲間やお客様、すれ違う人たちや出会う人たちにも常に感謝をもって接してまいります。また、父母や祖母にも言葉や態度で感謝の気持ちを伝えてまいります。そして感謝だけでなく、自身を神の子として認識し劣等感を感じ過ぎず、大切な存在、素晴らしい存在として向き合ってまいります。

D・M〈20代〉〈男性〉

今回私は会社の研修として参加させていただきました。会社では月に一度のセミナーで生長の家の文章を必ず全員で音読しています。今回「人間は神の子である」という事を強く教えていただき、すべて一体、愛に満たされた者が私なのであると学び、愛の成長、感謝の成長、そして無限の悦びに繋がっていくのだとわかりました。肉体観があると他人と比べてしまい、因果の法則が恐怖の味わいになってしまい、神罰の神が生まれてしまうことを学びました。肉体は心の表現と心得、全てに感謝し自分を大切に生きていこうと決意しました。

いま生命があるのは両親、先祖のお陰で感謝が尽きません。何か辛いことがあっても、自他一体の命であり、不調和、不完全は有り得ず、完全調和であるから、生きている、生かされている喜びをしっかりと感じながら、これからも様々な事に挑戦し、探求し、精進して参ります。

今の唯一無二の体験を通して過去の良かったことも、良くなかったことも未来の素晴らしい出来事に繋がるという話を聞き、感銘を受けました。仕事もプライベートの時間も、一日一日を大切にして充実した人生、豊かな人生になるよう全ての事に感謝しながら生活していきます。この度はこのような素晴らしい練成会に参加させていただき感謝申し上げます。

〈神癒祈願のお礼状〉

父の病気が快癒

Y・K〈男性〉

この度、父の神癒祈願に関しまして多大なご尽力を頂き、誠にありがとうございました。心から感謝とお礼を申し上げます。

父はもともと糖尿病を患っており、昨年の夏ごろから横腹の痛みを訴えるようになり、今年の春に健康診断で「腎臓に異常がある」という結果を受けました。後日、精密検査をしたところ腎臓出血でした。年齢的にも後期高齢であることから手術も難しいとのことで、このまま痛みとの戦いが続くのかと思っていた矢先に、担当医から「手術できる可能性がある」と連絡を受けました。我々家族も一度は悩みましたが、担当医が神様に見え、説明を聞いて同意しました。

ちょうど、その週の土曜日に予定が空いており、宇治の「一日講話」に参加し、入龍宮幽斎殿にて神想観を実修して神癒祈願をお願いしました。その後も自宅にて毎日、父を想い心から神想観を実修しました。特に今回気づいたことは、人型に同封されている「神癒成就に関する谷口雅春先生のお言葉」でした。ここを毎日読誦しました。谷口雅春先生がどんな想いでこれを書かれたのか、私には奥深いものを感じました。そして数日後、父は無事手術を受けて、腎臓からの出血は止まりました。

後日、医師から具体的な説明を聞いたところ、「糖尿病による薬の副作用で、腎臓に障害が発生した」ことが原因だったそうです。あと年齢的にリスクがあり、「この歳で出血が止まったことが奇跡」だと医師も驚いていました。さらに長年患っていた糖尿病も、日々の努力を積み重ねた結果、血糖値や血糖ヘモグロビンA1cの値も健常者と同じになり、長年飲み続けていた薬からも卒業しました。私の中では正味一ヶ月間の取り組みでしたが、この間に多大なご尽力を頂き、本当にありがとうございました。父は今、野良仕事を頑張っています。

神癒祈願
左記のQRコードからお申し込み頂けます。
（手数料無料）

奉納金は随意です。詳しくは神癒祈願課までお問い合せください。

《お問い合せ》
生長の家宇治別格本山祈願部
神癒祈願課　TEL　〇七七四（二二）二五七
FAX　〇七七四（二二）二六七

◆ 7月 宇治別格本山で行われる祭典 ◆

（すべて参列していただけます）

11日(金)10:00～ 自然災害並びに世界規模感染症慰霊塔月次祭

13日(日)10:00～ 宝蔵神社月次祭
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭

19日(土)10:00～ 末一稲荷神社月次祭
精霊招魂神社月次祭

8月2日(土)10:00より末一稲荷神社祭、精霊招魂神社祭が執り行われます。是非ご参列ください。

《開催予定の行事》

★献労練成会 7月18日(金)～20日(日)

プログラム及び詳細は４項に記載

★短期練成会 8月1日(金)～3日(日)

プログラム及び詳細は５頁に記載

※宿泊は開催初日の前日まで、日帰り参加は参加前日までにお電話またはネットの申込フォームよりご予約ください。
詳細は4、5頁をご確認ください。

「ご先祖と共に悦びの一日講話」

７月の開催はありません。

宇治別格本山ネットフォーラム研修版

～宇治の講師陣と共に、真理研鑽のひと時を過ごしませんか？～

（「九折スタジオ動画」「登録ビデオ」を拝聴して、感想をシェアします）

◇参加希望の方はZoomミーティングに入り、ご参加ください。
・URL: https://us02web.zoom.us/j/81447305227　・ID: 814 4730 5227

◇視聴希望の方はFacebookグループ「生長の家宇治別格本山ネットフォーラム」に入会し、ご視聴ください。※入会は無料です。

★分からないことがありましたら、お気軽にお電話(0774-21-2153)ください。

7月は２４日（木）午後３時より開催いたします。ぜひご参加ください。

宗教法人 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/

ISO 14001 認証取得